



今季こそ、
一部へ



常磐大学体育会 硬式野球部

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
本学	1	0	5	3	1	0	1				11
新潟大学	0	0	0	3	0	0	1	X			4

2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
新潟大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
本学	0	0	1	1	0	2	0	2	X	6



関甲新学生野球 2部リーグ戦

写真 2戦目 大活版の館

新潟大学戦 2勝0敗



学生コーチ 笠原マネ 浅田引退

写真 1戦目、二塁に走り込む山田



学生コーチ 三河 奮闘中 勝点 4

関甲新学生野球・2部春季リーグ戦最終節となる第5戦・新潟大学戦は当部が制し、勝ち点をあげました。

【1戦目 5/18】常磐は初回表、無死1・2塁のチャンスを作ると3番櫻村昌樹（2年）の適時打で先制。3回表、相手のミスが重なり、2点を追加すると、続くチャンスで9番山田起熙（2年）の適時打で1点、さらに櫻村の適時打でこの回、5点を追加。4回表、1死2・3塁から7番鈴木海斗（3年）、8番関大喜（3年）の連続適時打で3点追加。5回にも1点、7回にも山田の適時三塁打で1点を加え、ダメ押し。投手陣は4回に3点を失うも、滝田充宏（3年）、神尾龍次（3年）、小倉潤也（3年）、高橋国杜（2年）、岩

附詳陽（1年）とつなぎ、11-4で7回コールド勝ちを収めた。【2戦目 5/19】3回裏、1死2・3塁のチャンスを作ると、4番石井将太郎（3年）のセンター前適時打で先制。4回裏、2死1・2塁から2番森谷慎斗（3年）のライト前適時打で追加点。6回裏、7番鈴木海斗のレフト前からチャンスを作ると、9番鈴木昂太（3年）のライト線を破る適時三塁打で1点、さらに1番根本拓真（3年）のスクイズで1点追加。8回に1点を失うも、その裏、途中出場の館拓真（2年）の適時二塁打でダメ押しの2点追加。館は守備でも美技を披露し、先発大谷優人（2年）を援護。9回裏、リーグ戦初登板の平野龍翔（2年）が締め、6-1。（文・三河樹）

星取表 (2019年5月19日現在)

順位	大学	関東学園	本学	埼玉	松本	新潟	高崎経済	総	勝	負	勝点	勝率
1	関東学園		☆☆	☆☆	★★	☆☆	☆☆	10	8	2	4	0.8
3	本学	★★		☆☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	11	8	3	4	0.7
5	埼玉	★★	☆☆		★★	★★	☆☆	11	3	8	1	0.2
1	松本	☆☆	★★	☆☆		☆☆	☆☆	10	8	2	4	0.8
3	新潟	★★	★★	☆☆	★★		☆☆☆	11	4	7	2	0.3
6	高崎経済	★★	★★	★★	★★	☆☆☆		11	1	10	0	0.0

応援ありがとうございました
体育会硬式野球部一同